

有田川町議会広報

ハなわら版

第61号

令和3年5月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索



写真提供：一ツ田友也さん

●発行／有田川町議会 ●発行責任者／議長 森谷 信哉 ●編集／広報広聴常任委員会 ●印刷／協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地4 TEL：0737-22-3294(議会事務局) FAX：0737-52-2198

活発な議論が展開される！

一 般 質 問

12人の
議員が登壇

椿原 竜二	11時の「時報」は必要だ！	P 3
佐々木 裕哲	新型コロナ対策を問う	P 4
中島 詳裕	過疎地域における交通対策は	P 5
殿井 堯	子どもたちの願いに応えられる教育を	P 6
増谷 憲	問題が多い風力発電事業	P 7
谷畑 進	日本農業遺産認定で有田川町はどのような	P 8
亀井 次男	新たな国の史跡指定を機にどう取り組むか	P 9
岡 省吾	「紀の国森づくり税」を活用した事業は	P 10
片畑 進之	(仮称) 鏡石トンネル開通後は	P 11
湊 正剛	有田川の浚渫ならびに樹木の伐採を	P 12
小林 英世	「地方創生事業」1期目の成果は	P 13
堀江 眞智子	子育てしやすいまちをめざして	P 14

(おもな質問項目を掲載しています)

(当初予算) ふるさと応援寄附金

10億円見込む!! P 15

総額165億2000万円！

おもな事業をピックアップ P 16,17

町民目線で予算を質す！ P 18,19

コロナワクチンなど「一般会計」を補正！ P 20

へき地地域定住促進対策条例の廃止を議論！ P 21

【討論】賛否が分かれる!! P 22

常任委員会レポート P 23

次回、令和3年第2回定例会の一般質問は、6月17日、18日を予定しています。



樺原 竜二

11時の「時報」は必要だ!

問 防災行政無線のデジタル化に伴い、時報が17時のみとなった。農家の方を中心に不便だという声が多いが、当局の認識は。

答 屋外拡声子局を学校や、福祉施設に設置しているため17時の1回のみとした。11時の時報を鳴らしてほしいという要望はいただいている。

問 約8億2500万円の税金を使い、防災行政無線のデジタル化改修事業を行ったが、以前より聞こえにくく、時報を減らしたことで不便にもなっている。学校や福祉施設に設置している屋外拡声子

局以外の設備を鳴らせないのか。

答 費用が約300万円程度かかるが、設備的に可能である。

問 防災行政無線デジタル化改修事業は、本定例会で約1960万円の減額補正となっている。約300万円で町民の要望にお応えできるのであれば、必要だと考えるが見解は。

答 区長会とも相談をしながら、できる限り要望に添えるよう、進めていきたい。

新型コロナウイルス ワクチンの計画は

問 新型コロナウイルスワクチン接種の計画は。

答 4月12日の週に第1回目のワクチンが供給される予定で、4月19日から接種を行う計画である。

問 どのような体制で接種を行うのか。

答 有田医師会と協議をし、まず集団接種で行う。その後、個別接種と集団接種の併用方式で行う。

問 一人あたりの時間と接種可能人数は。

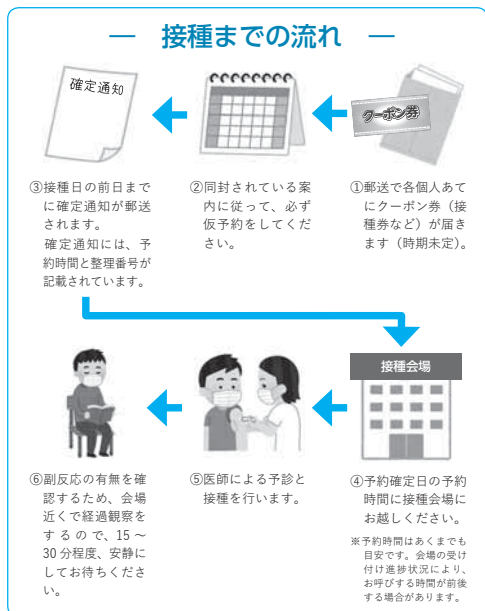
答 一人あたり約10分と見込んでいる。

1日2時間の接種を計画しており、1チームあたり12人を予定している。

問 ワクチン接種までの流れは。

答 次の通りである。

①対象年齢順に個人宛に接種クーポン券を郵送。



金屋文化保健センター	
実施日 (1回目)	実施日 (2回目)
4/21・4/22 4/28・4/29	5/12・5/13 5/19・5/20
水・木 4チーム	
きびドーム	
実施日 (1回目)	実施日 (2回目)
4/19・4/24 4/26・5/ 1	5/10・5/15 5/17・5/22
月・土 4チーム	
清水保健センター	
実施日 (1回目)	実施日 (2回目)
4/22・4/24 4/29・5/ 1	5/13・5/15 5/20・5/22
木・土 2チーム	

問 優先接種順や人数を把握できているのか。

答 優先接種順位は、

- ① 医療従事者
- ② 高齢者の方(年齢順)
- ③ 基礎疾患を有する方
- ④ 高齢者施設等の従事者
- ⑤ 60歳から64歳の方。

令和3年2月末時点の住民基本台帳では、65歳以上の高齢者は、8358人である。

※その他「有田川町の教育について」質問を行いました。

新型コロナ対策を問う



佐々木 裕哲

問 新型コロナ発生から1年以上が経過。各業界において経済的・精神的な苦悩は計り知れない。

答 政府は国民や事業者に対し、巨額な金額を支援している。有田川町に対して総額いくらかの支援策も含めて）

問 国民一人あたり10万円の特別定額給付金（26億2千万円）や1万円応援クーポン2回、持続化給付金、高収益作物次期作支援金など（14億円）各担当部合計で約40億円の事業費により感染対策や経済対策を行ってきた。

問 ワクチンの接種を受けたくない人や、様

子を見てからという人は期限があるのか。

答 期限はないが、ワクチン接種は年度内となっている。

本町最高峰の上湯川岳（1261m）は

問 国土地理院への登録はその後進んでいるのか。

答 平成28年7月に命名、平成29年3月ゼンリン住宅地図に掲載など進めている。



隣接する田辺市、日高川町とも協議し令和3年度中に掲載できるように交渉する。

問 上湯川岳を学校で子どもたちにどのように教えているのか。

答 子どもたちが有田川町のことを知ること、郷土愛を持つこと、つながると考え、命名された翌年に学習副読本に有田川町の一歩高い山として明記し活用している。

**過去の一般質問
その後は**

問 JAありだ本所、JR高架下の交差点の標識の訂正は。

答 交差点の名称は警察が設置したものであり、平成29年11月に要望を提出しているが、変更されていないので再度確認すると、令和3年度中に変更することである。

問 有田養鶏組合への3447万円の返還請求は。

答 代表理事に対し、助成金の取り消しおよび返還請求を行っているが、返還に至っていない。

ねばり強く取り組んでいく。



問 公費で支払っている限り町民の負担にならないようにしてもらいたいが見解は。

答 引き続き請求をしていく。

問 手話奉仕員養成講座の開催は。

答 有田圏域「1市3町」で輪番にて実施することに決定した。研修事業の費用は各市町で負担。令和3年度は有田市が担当する。



中島 詳裕

過疎地域における 交通対策は

問 平成19年度から実施しているコミュニティバス。

運行のあり方をどう考えているか。

答 地域生活交通の確保は、非常に大きな課題と認識している。

現在、金屋地域で3路線、清水地域で13路線運行している。

問 利用状況はどうか。

また、今日まで路線の見直しや便数などの協議はしたか。

答 利用者数は、この10年あまりで1000人程度減少した。

ことあるごとに、運行のあり方を、関係者と協議している。



問 定期バスの運行に
関して生活バス運行補助金を支出しているが、今後の方向性をどう考えているのか。

答 自力での運営は、非常に厳しいとのことである。

町としては、生活交通路線の維持には致し方ないと考えている。

意見 必要な支援だと思うが、町民の利便性を考えれば、今後の方向性や運行のあり方な

ど踏み込んだ協議が必要だ。

問 コミュニティバスの運行も含め、今後具体的にどのような移動サービスを考えて取り組んでいくのか。

答 県当局も含めて専門家や事業者の意見、地域の方の声もいただきながら、デマンド型も含めたさまざまな交通手段について検討し取り組みを強化していく。

問 まずは集団接種で実施することだが個別接種は検討されたか。

答 最初は、複数の医師が行う集団接種で始めたいと医師会の意見を尊重した。

問 接種環境を整えることは重要だ。接種に関する正確な情報の提供と送迎車の用意などの対策はどうか。

答 ワクチン効果などは、広報で周知する。移動手段は考えていない。

問 移動手段は、講じないとのことだが交通手段がないなどで、接種を断念するケースが考えられる。もう少し柔軟な取り組みは、考えられないか。

答 集団での一回目の接種が終わったら、個別接種が実施されるの

で地元のかかりつけ医で接種できる。

問 高齢の1人暮らしの方、在宅で介護を受けている方などへの対応はどうか。

答 地元の民生委員児童委員の方や、介護事業所の協力をいただき接種を促していく。

意見 町民が安心して安全に暮らしていくためにもできるだけ多くの方に接種いただくことが重要だ。相談など窓口業務においても画一的にならず、柔軟な対応を求める。



子どもたちの願いに 応えられる教育を



殿井 堯

問 新型コロナウイルス感染が
出ている中で、子ども
たちにとどのような接し
方をしているのか新教
育長に問う。

答 昨年度、臨時休校
になる前日に、正門に
立って見送っていたら
「校長先生、明日から
も学校に来たいわ」や
「校長先生待つてて
ね」などと言われ涙が
出る思いであった。そ
れくらい子どもたちに
影響を与えたと実感し
た。

今、どのようなこと
が起きているかを子ど
もたちに理解させ、家
庭や学校でできること
は何かということを指
導していきたい。

問 金屋第1保育所で
も、ゼロ歳児保育を始
められないのか。

答 金屋第1保育所は、
施設面の問題からでき
ていない。今後、建て
替えも含め有利な補助
金があれば模索してい
きたい。現在、ゼロ歳
児保育は金屋第2や第
3保育所に対応してい
る。

問 児童が増加してい
る御霊学童保育所。
今後、どのような対
応となるのか。

答 御霊学童保育所は



定員がいっぱいの御霊学童保育所（さくらんぼクラブ）

近年入所希望者が多い。
しかし、現施設は定
員がいっぱいである。御
霊小学校の体育館を一
部改修し、御霊第2学
童保育所とする。

防災行政無線が 聞こえにくい

問 8億円も使い防災
行政無線をデジタル化
した。しかし、聞こえ
にくい、声が割れると
いう苦情にどう対応し
ているのか。

答 聞き取りにくいな
どの声を聞いている。
そのつど現地を調査
している。早急に対応
したい。



防災行政無線

問 11時の時報をなく
した理由は何か。

答 学校など要配慮施
設に屋外拡声子局を設
置するにあたり、協議
した結果、影響の出な
い午後4時以降の時報
だけにした。

問 学校などで鳴らさ
なければ11時の時報は
継続できるのではない
か。

答 技術的には可能で
ある。区長会や皆さん

認可地縁団体登記へ の相談に対応を

のご意見を聞き、検討
していきたい。

問 地縁団体特例法に
よる認可地縁団体の登
記の特例があり、町が
事務を行えるようにな
った。今後、相談に来
たら対応してくれるの
か。

答 相談があった場合、
制度の説明や必要な書
類、書き方など親切・
丁寧の説明させていた
だく。



増谷 憲

問題が多い風力発電事業

問 (仮称)海南・紀美野風力発電事業者の動きはあるか。

答 何ら進展はない。FIT法の固定買取制度は、申請期限が令和3年3月31日。現時点で申請はないと聞く。

周辺地権者の承諾が得られていないので環境影響調査もできていない。事業化は困難な状況にあると思う。

問 県知事は、ドリムウインド和歌山有田川・日高川風力発電計画で予定地域の保安林を壊してまで設置すべきでないという意見書を出している。町長の認識は。



事業者が設置した騒音測定機

答 知事の見解からすると計画を実行するのは難しいと思う。

問 修理川地内に中紀ウインドファーム風力発電機が設置され、試運転をしていた。

近隣住民から騒音被害の話聞いたが、今後の対応はどうか。
答 事業者に地元の声を届けたい。

ワクチンの安全性は

問 ワクチンの安全性と周知はどうか。

答 安全性は確認されている。国からのチラシなどで周知していく。

問 接種場所と何日間で接種は終わるのか。

答 集団接種の会場は3カ所である。

国からのワクチン供給量は分らないが、早期完了をめざしている。

問 湯浅町では、車に乗れない高齢者の送迎を予定しているが、本町ではどうか。
答 今のところ考えていない。

問 接種後に急変した場合の対応と補償問題は迅速に行えるのか。

答 接種会場で30分前後の様子をみる。また最低限の医薬品を備え医師が対応する。補償問題は、予防接種法の健康被害救済給付の申請で対応する。町で実施した接種の場合は、町保健衛生事故調査会から県、国への報告となり時間がかかる。

問 接種後に急変した場合の対応と補償問題は迅速に行えるのか。

答 接種会場で30分前後の様子をみる。また最低限の医薬品を備え医師が対応する。補償問題は、予防接種法の健康被害救済給付の申請で対応する。町で実施した接種の場合は、町保健衛生事故調査会から県、国への報告となり時間がかかる。

生活・経済対策は

問 介護事業所への支援はどうか。

答 介護事業所との定期的な連絡会議では感染対策助成金で対応できていると聞いている。

問 給付金申請の事務負担の軽減はどうか。

答 町は手伝うことができないので、各施設でやっていただきたい。

問 発熱者を受け入れてくれる病院がないと聞くが、1市3町で対応してはどうか。

答 1市3町で連携していきたい。

問 小規模事業所は、かかり増し経費や減収補填の制度が受けられない。独自の支援策や、県また国に対し基準を引き下げるような提案はどうか。

答 県に要望していきたい。

問 介護事業所での雇用確保が大変である。対策を国や県に求めはどうか。

答 町に連絡協議会があるので、そこで要望などを聞きながら国や県に伝えたい。

※その他「自伐型林業について」質問を行いました。

日本農業遺産認定で 有田川町はようになる



谷 畑 進

問 和歌山県高野・花園・清水地域における「聖地高野山と有田川上流地域を結ぶ伝統的農林業システム」と和歌山県有田地域の「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」の日本農業遺産認定は誠に誇らしいことだ。認定に至った背景は。

答 「聖地高野山と有田川上流地域を結ぶ伝統的農林業システム」は、高野山に物資を提供するため、急傾斜地を活用した作物づくりや清水地域の林業が発展したことが評価された。高野山との結びつきを色濃く残す御田などの農耕文化が育まれ継承されている。



「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」は、400年以上の歴史を有し、日本一の生産量で総合力の高い産地である。有田みかんは地域の主産業で、ミカン栽培および出荷を通じ、多種の産業の発展に寄与している。

有田みかんブランドは、日本のミカン栽培をけん引してきた。

問 本町の産業に及ぼす効果と今後の取り組みは。

答 地域の自信と誇りを醸成し、農林産物の更なるブランド化や観光誘致で地域経済の活性化に期待する。龍谷大学、京都大学や近畿大学との協定により、有田中央高校と連携し、農林業従事者の育成に努めていく。また、移住対策で産業の活性化を図る。



軽救急車の重要性は

今後、新規事業や商品開発で、交付金など県に働きかけていく。

問 高規格救急車が進入できない地域に向かう軽貨物車の活動内容と出動回数はどうか。

答 進入のできない場合は、高規格救急車と軽貨物車が2台セットで出動している。傷病者の容態などを

考慮し、緊急的・避難的措置として軽貨物車の荷台に担架を乗せ搬送する場合がある。大変重要なものである。令和2年中は、9件の搬送を行っている。

問 天候やプライバシーを考慮して、軽救急車を導入してはどうか。

答 県内でも軽救急車を導入している所がある。

今後、既存の軽自動車など、更新時の検討課題にしたい。



亀井 次男

新たな国の史跡指定を機に どう取り組むか

問 本町の指定文化財の説明板および道路標識の設置数と計画は。

答 町内には現在、文化財の説明板および表示杭が56件、道路案内27件。

文化財の価値や重要性を知っていただくためにも、整備や更新を継続していきたい。

問 現在の指定文化財数は。

答 本町には、国の文化財が24件。県指定が32件。町指定が145件。合計201件である。

令和2年11月20日に「湯浅党城館跡」として新たに国の史跡へ指定するよう答申があり、

国指定文化財が1件増加する見込み。

国指定・選定文化財の件数は、高野町207件、和歌山市51件。次いで県内では3番目に多い。本町には、貴重な文化財が数多く残されている。

問 「悉皆調査」とは、どのような調査か。

答 「悉皆調査」は、残存文化財の掘り起こし調査で、令和元年度から3カ年の予定で取り組んでいる。

近年、文化財の盗難被害が多発し、全国的に問題となっている。また、自然災害による文化財の滅失や棄損が各地で発生している。文化財保護審議会と

協働し、台帳整備をはじめとしたデータベース化を図る。

将来発生が懸念される有事の際にも、台帳が重要な資料となる。

また、調査段階で価値の高い文化財が新たに発見されている。新規に指定文化財とし、保護措置を講じていきたい。

「藤並館跡」が国の史跡指定に決定した。保全にご尽力されてきたボランティアの皆さまに、感謝の意を表すべきだと思いが、見解は。

問 「藤並館跡」が国の史跡指定に決定した。保全にご尽力されてきたボランティアの皆さまに、感謝の意を表すべきだと思いが、見解は。

答 この機会に、ご尽力いただいている保存会の方々に感謝状を贈呈したいと思う。

問 今回の「湯浅党城館跡」「藤並館跡」の国の史跡指定を機に、有田川町内の「湯浅党」と「畠山一族」の中世にスポットを当て、6カ所ほどある城館跡など身近な場所と中世の武士団の活動、隆盛、衰勢を小学生にもわかりやすい副読本にまとめれば教育、観光にも活用できると思う。作成には、文化財保護委員に相談すれば、立派なもの安価で製作できると思うが、見解は。

答 「紀州語り部」として4人が登録されている。この「紀州語り部」登録制度は、和歌山県観光連盟が、昭和61年から取り組んでいるものである。町内で

きると思うが、見解は。

答 有田川町文化財審議委員会と協議し、本町の中世にスポットをあてたいと思う。

また、学習副読本への明記や学校とも連携しながら子どもたちの教育にもいかしたい。



問 語り部の現状は。

答 「紀州語り部」として4人が登録されている。この「紀州語り部」登録制度は、和歌山県観光連盟が、昭和61年から取り組んでいるものである。町内で

の語り部活動実績は、ほとんどないが、今回、国史跡として指定された「藤並館跡」のほか、その他の城跡や文化財、偉人など、語り部の皆さんの力をお借りしながら、観光ルートやモデルコースの設定など、観光施策を検討していきたい。

意見 文化財行政にも、中山町長・片嶋教育長・森田産業振興部長の、今後より一層ご尽力されるよう期待する。

「紀の国森づくり税」を 活用した事業は



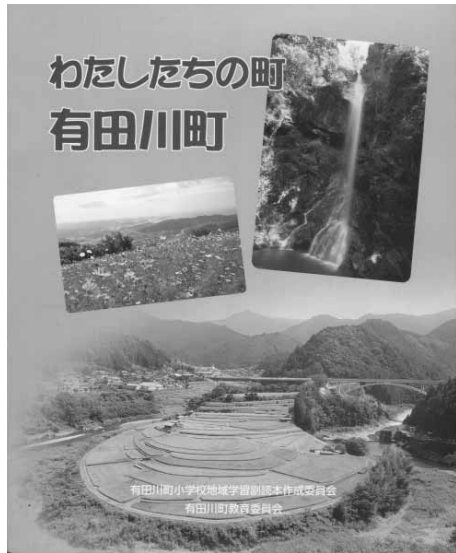
岡 省 吾

問 「紀の国森づくり税」は、森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいくために、平成19年4月から導入された制度である。

水源のかん養、県土の保全など公益的機能を有する森林から県民皆さまが恩恵を受けているとの認識に立ち、県民の理解を得て今日まで継続されている。

有田川町においても、森林整備、また教育的観点からも貴重な財源として活用されていることを踏まえて、以下、数点にわたり聞く。

直近5年間、有田川町にどのくらいの金額が配分されているか。



副読本を活用し有田川町を学ぶ

答 平成27年度 1477万円

平成28年度 1550万円

平成29年度 1915万円

平成30年度 3576万円

令和元年度 4886万円

問 「紀の国森づくり税」を活用して実施している事業の内容はどうか。

答 金額の約9割が環境保全林の間伐事業となっている。その他には緑育事業、公募事業で利用している。

問 緑育事業の内容はどのようなものか。

答 教育関係では、県の林務課を通じて森づくり税を原資とした「紀の国緑育推進事業補助金」を活用している。令和2年の実績で、町内5校の小学校が活用し99万6888円。

事業内容は小学5年生を対象にした森林学習として、間伐体験や丸太切り体験、木工品づくりなどを行っている。

また、社会科において副読本を利用し、森林を守り育てる意識を育むため『なぜ森林を守る』が私たちの命

を守ることに繋がるのか』を学習させている。

問 有田川町として「紀の国森づくり税」の意義をどう捉えているか。

答 林業経営をめぐる厳しい状況のもと、間伐などの森林整備が十分に行われずに森林の荒廃が進んでいる。この「紀の国森づくり税」は、従来の森林・林業振興施策に加え、森林環境を守る新たな施策の展開を図るほか、その取り組みを通じて県民意識の一層の高まりを期することを目的としている。有田川町にとっても、有意義な



間伐作業

施策であると認識している。

問 この制度の適用は5年ごとに期限を設け、そのつど延長されてきた。現在の運用期間は令和4年3月末までとなっている。国の森林環境譲与税との関連性から、この施策が今後とも継続されていくのか心配する。県の方向性はどうか。

答 県担当課に確認すると、県議会での承認が必要となる案件ながらも、今後とも継続して実施できるよう頑張るとのことであった。



片畑 進之

(仮称) 鏡石トンネル開通後 本町のビジョンは

(仮称) 鏡石トンネル建設経過と予定

平成28年度	詳細設計
↓	
平成30年度	入札 約54億円で落札
↓	
令和2年度	工事着工 (延長2567m)
↓	
令和5年度	1日約5m掘削 トンネル貫通予定
↓	
令和7年度	付帯工事を経て トンネル全面開通予定

問 トンネル開通は4年後の令和7年と聞いている。現状はどうか。また、開通後の道路整備、徳田糸野架橋計画の進捗状況は。

答 県によりトンネル本体工事を含め、海南市別所から上六川の約5kmを重点工事で進め

問 観光施設や温泉施設への案内板を高速道路沿いや主要交差点など目立つ場所への設置を検討しては。

答 トンネルが開通し県道が整備されれば物流や人の流れの往来が変わる。流入人口の増加や観光振興交流が重要だ。今後も誘客に取り組んでいく。案内板も含めて検討していく。

問 本町と紀ノ川流域市町の生産物を物産直売所で共同販売することを検討してはどうか。

答 生産物は互いの産物直売所を通じて利益が生まれると考えている。

ている。整備後は所要時間短縮や安全性が向上し、県中央を南北に縦貫し、国道や高速道路のバイパス的役割を果たす。徳田糸野架橋計画および新設道路は、県道海南金屋線改修促進協議会で要望していく。



期待される徳田から糸野への架橋 (鉄道公園から望む)

問 今後、予想される東南海南海地震で紀伊半島海岸線の交通網が遮断した時、県道18号線や国道424号が重要路線となる。緊急救援隊や物流輸送の対策は。

答 県道18号線や国道424号は災害時有効活用できるように県と協議していく。

問 町民の生命に関わる救急搬送はトンネル利用で海南医療センターに利便性がある。検討しているのか。

答 救急搬送ルートは場所、傷病、容態などで搬送の可能性がある。検討しているのか。

問 医療面で海南医療センターは診療科目も多く、他に整形外科病院が複数ある。

答 通院や買い物など交通手段がない高齢者の移動確保のためにも検討したい。しかし、市町を跨ぐので関係交通機関と協議していく。



金屋側糸野交差点よりトンネル方面を望む

有田川の浚渫ならびに 樹木の伐採を



剛 正 湊

問 有田川河川内の計り知れない堆積土砂や河畔林の繁茂により、著しく川水の流れを阻害している。防災の観点から、安心・安全な町づくりのためにも緊急を要する課題であるが、町当局の対策はどうか。



田殿橋

答 本年度は「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」の予算などを活用し、田殿橋上流、吉備橋上下流、金屋橋上下流など7カ所において、2万8千㎡の堆積土砂の撤去や河川内の樹木伐採を実施した。重要課題であり、来年度も引き続き、台風や集中豪雨による被害を軽減するために、今後も適切な河川維持管理を県に強く要望していきたい。

問 世界的に環境問題が叫ばれている昨今、自然エネルギーを利用した電力確保に反対するものではない。しかしながら、林地開発による太陽光発電、風力発電は自然を破壊し、貴重な生態系をも失い、災害を引き起こす要因となる。このような開発には賛同できない。経済産業省が大規模洋上発電事業を推進しているときに、なぜ山間地に設置するのか。林地開発による自然破壊の認識はどうか。

答 林地開発を行う場合は、県知事の許可が必要であり、森林の持つ働きが損なわれないよう4つの許可基準が設けられている。1つ目は災害の防止。周辺地域に土砂流出などの災害を発生させる恐れがないこと。2つ目は水害の防止。



老朽化が進む千葉荘

林地開発による 自然破壊の認識は

計画地の下流域に水害を発生させる恐れはないこと。
3つ目は水の確保。周辺地域の水の確保に著しい支障をきたす恐れのないこと。
4つ目は環境の保全。周辺地域の環境を著しく悪化させる恐れがないこととなっている。
林地開発許可申請に基づき、県が調査し申請内容を審査する。今後、施設が設置されることにより自然破壊が進まないよう県に対し進言していきたい。

田殿老人憩いの家 『千葉荘』の今後は

問 長年にわたり使用されていない「千葉荘」。現在は鳥獣の住み家となっている。今後どうしていくのか。

答 建築から45年が経過しており、経年劣化も激しく、使用頻度も少ないことから取り壊しも含めて関係者と協議していきたい。



小林 英世

地方創生事業 1期目の成果は

問 平成27年から実施された本町での地方創生事業の総括はどうか。

答 総合戦略の最終的な目標は2060年に2万人以上の人口ビジョン達成。

第一期の指標評価では、観光客数や若い世代の転入者数で下回ったが、人口としては「人口ビジョン推計」を少し上回っている。

問 ポートランド流（住民主体）の町づくりを学んだ、旧田殿保育所改修事業の評価は。

答 住民の発案で住民参加の町づくりとして改修事業ができた評価している。

	実施年度	総事業費	国の交付金	町費	内容	評価と課題
旧田殿保育所 リノベーション整備事業	H27	18,129	18,129	0	田殿保育所の改修	施設売上高は年間目標以上。空き部屋が2部屋あるので入居するよう働きかけ。
	H28~H29	15,972	7,986	7,986		
絵本の町づくり 総合推進事業	H28~H30	48,054	23,197	24,857	絵本コンテスト 絵本マルシェなど	イベント参加者は目標を大きく上回る。移住定住に繋がっているかは不明。
“緑のダイヤ” ぶどう山椒ブランド化事業	H29~R1	43,790	21,895	21,895	生態研究 商品開発など	生産者数減少に歯止めかからず。引き続き新規就農と所得向上を図りたい。
近未来型拠点交流施設整備	R1	159,662	79,831	79,831	絵本館開設 ふわふわドーム設置	事業継続中
合 計	H27~R1	285,607	151,038	134,569	(金額の単位は千円)	

問 若者や女性の参加が期待された。現状はどうか。

答 以前は町づくりの補助金申請は区が中心であったが、現在は若い民間の町づくりグループからの申請も増えている。

問 吉備地区と清水地区で行われた地方創生事業。今後の展望は。

答 金屋地域での事業を地域の方々と相談しながら実施したい。国道424号や県道18号の改修が進むので、人の動きも大きく変わると予想される。

教育の現状と 諸問題を問う

問 教職員の多忙化と変形労働時間制導入を教育長はどう認識しているか。

答 多忙化には、校務支援ソフトやネットワークの充実。また、校務分担を整理して働き

方改革につなげたい。変形労働時間制導入は県下の動向を注視し、研究していく。

問 児童・生徒に配布される一人一台のタブレットの活用はどうか。

答 児童・生徒が扱いに慣れることを重視する。そのためにデジタル主任を設けるなどして充実させたい。

問 高校統合に対する教育長の認識は。

答 2月9日の説明会で発表された骨子案では、定時制・通信制を含めた32校を、可能な限り存続させていくとのこと。有田3校の存続意義は大きく、存続できるように要望していく。

問 子ども議会継続の課題は。

答 町内中学校で順次実施し、議会や町づくりを学ぶ良い勉強になった。しかし、行事予定に隙間がなく、指導

教員も多忙で実施するにはさまざまな課題がある。

問 児童・生徒の安全対策として、通学路に防犯カメラを設置してはどうか。

答 まずは校内への侵入を監視するカメラの設置を優先したい。

問 御霊小学校から南への通学路。以前からグリーンベルトを要望していたがどうか。

答 関係部局と相談しながら進めていきたい。



通学路へグリーンベルトを

「子育てしやすいまち」をめざして



堀江 眞智子

問 御霊学童を利用する子どもの増加に伴い、使える施設を改修し利用できるようにと、今議会に補正予算が計上された。

答 今年度の子どもたちの受け入れに対して約30人定員を増やすことになるが、どの施設を改修するのか。

4月に間に合うのか。

答 増加する保育希望者に対応するため、学校とも話し合い体育館の一部を改修する。

4月には間に合う。



御霊小学校体育館

問 これで、来年度の希望者は受け入れられるのか。

答 現時点での希望者は受け入れられる。

問 この施設を改修するにあたり、国・県の補助金を使っているが、今後新設の時は、補助金が使えるのか。

答 今回の改修では、改造費の216万円と備品購入費の200万円の補助を受けている。今後、新設する場合には、新たな補助金を模索する。

問 学童クラブから要望があれば、雨天などの場合、体育館を使用できるのか。

答 学校や関係機関とも話をし、ほかに利用がない限り積極的に利用していただきたい。

問 「子育てしやすい有田川町」を掲げる本町として、女性活躍社会を推進し、母親が安心して働き続けるためにも学童保育はなくてはならない施設であると考えますが、町長、副町長、教育長の考えは。

答 (町長) 子どもが増えることはとても嬉しいと思っている。しっかりと動向を見ながら、後手後手にならないよう対応していく。若い世帯は共働きが多い。その家庭を支えるためにも学童保育は大切である。

答 (副町長) 今年度の出生数が、200名を超える。教育や福祉が充実してい

問 学童クラブから要望があれば、雨天などの場合、体育館を使用できるのか。

答 学校や関係機関とも話をし、ほかに利用がない限り積極的に利用していただきたい。

問 「子育てしやすい有田川町」を掲げる本町として、女性活躍社会を推進し、母親が安心して働き続けるためにも学童保育はなくてはならない施設であると考えますが、町長、副町長、教育長の考えは。

答 (町長) 子どもが増えることはとても嬉しいと思っている。しっかりと動向を見ながら、後手後手にならないよう対応していく。若い世帯は共働きが多い。その家庭を支えるためにも学童保育は大切である。

答 (副町長) 今年度の出生数が、200名を超える。教育や福祉が充実してい

答 (教育長) 保護者、働く方の声をしっかりと聞く。そこから始まると考える。現場の声をしっかりと聞



御霊小学校体育館内ではじまった学童保育

いていく。有田川町は、子育てしやすい町との優位性を発信するためにも、各学校区に学童保育があるのは大切。住民のニーズをこれからも聞いていく。

歳入・歳出
総額

令和3年度一般会計当初予算

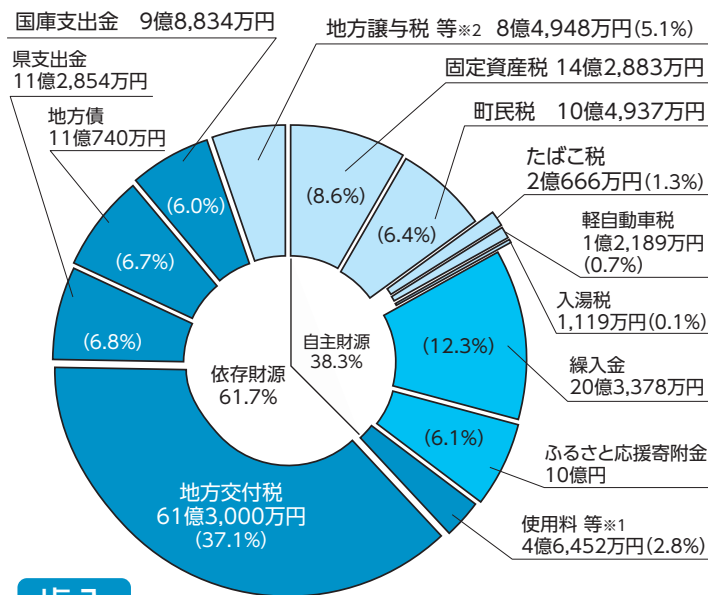
165億2000万円

可決

きびドーム大規模改修に4億3614万円！

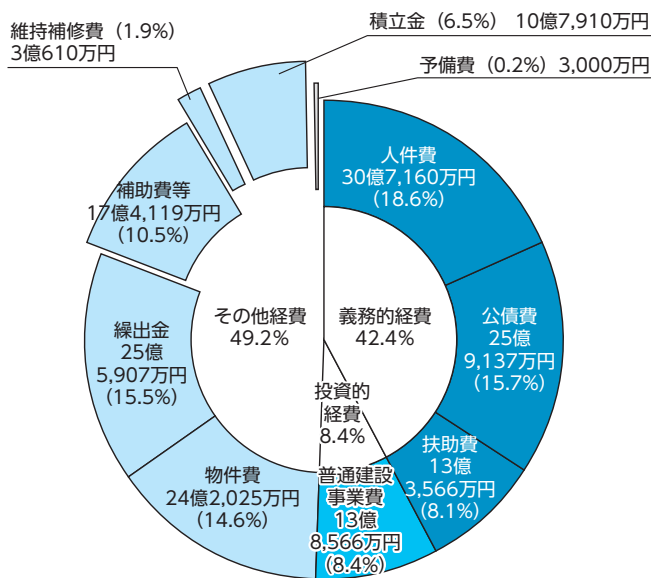
令和3年第1回定例会は、3月2日から23日までの日程で開催しました。本定例会に提案された令和3年度一般会計・各特別会計予算、令和2年度一般会計・各特別会

計補正予算、条例の制定・一部改正・廃止、請負契約の変更など提案された議案を審議し、すべて原案の通り可決しました。



歳入

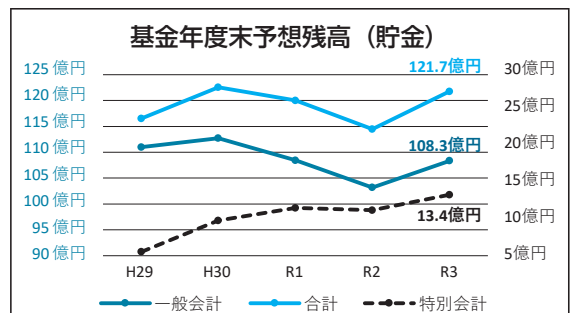
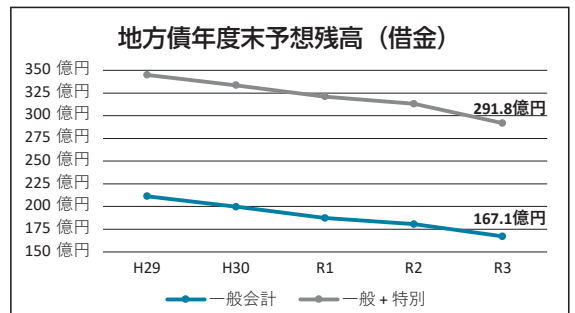
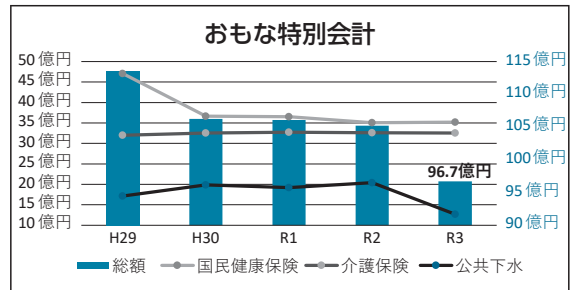
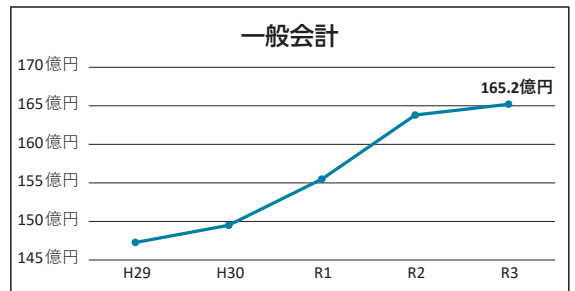
※1 使用料・手数料・分担金・負担金・財産収入・寄附金（ふるさと応援寄附金除く）・繰越金・諸収入の計
 ※2 地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金・株式譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・地方消費税交付金・ゴルフ場利用税交付金・環境性能割交付金・地方特別交付金・交通安全対策交付金の計



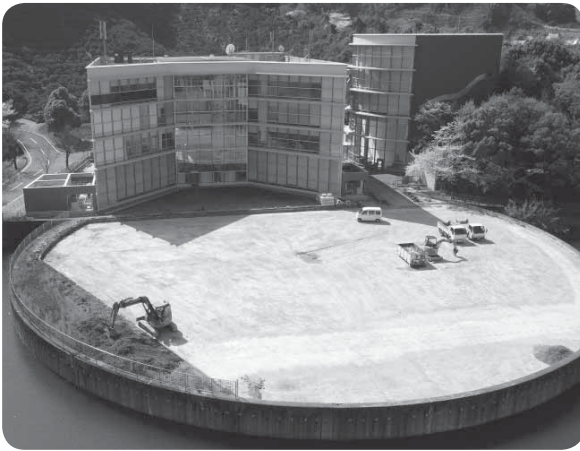
歳出

一般会計の性質別内訳

5年間の推移



令和3年度 おもな事業



吉備庁舎大規模 改修事業

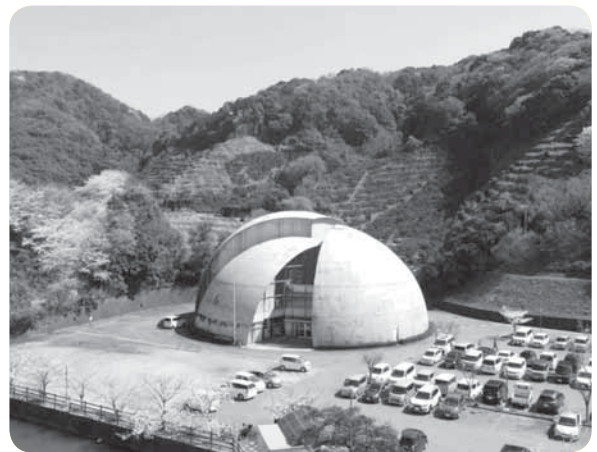
1億2057万円

庁舎北側の調整池を駐車場にするなど、吉備庁舎周辺を整備します。

きびドーム 大規模改修事業

4億3614万円

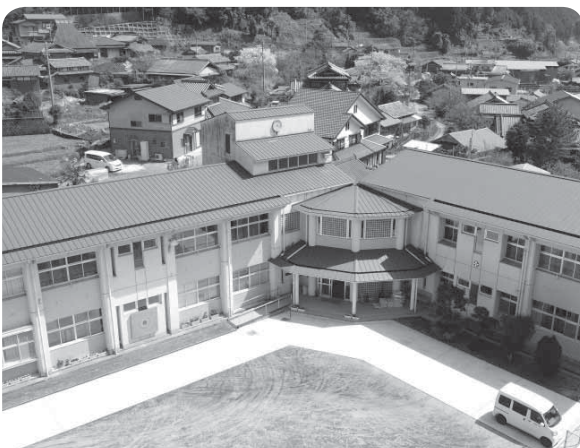
建設後26年が経過し、老朽化している空調などの機械整備、外壁などを改修します。



移住就業支援 拠点施設整備事業

685万円

町内へ移住ならびに就業希望者への支援拠点として、旧城山西小学校を活用し整備を行うための設計をします。



きび森の保育所 駐車場整備

3311万円

右側の建物を撤去して約20台分の車が駐車できるスペースを整備します。(庄地内)



町が倉庫として使用していた建物



金屋テニス公園 照明LED化事業

1375万円

24灯の照明をLED化します。
(吉原地内)

コスモスパーク 遊歩道整備事業

400万円

コスモスパークの遊歩道を改修します。
(木製土止め柵 約500m)



土止め柵の劣化が著しいコスモスパーク



藤並駅東口 トイレ改修事業

118万円

観光施設整備事業県補助金を活用し、床の張り替えおよび男子トイレを洋式化します。

令和3年度予算質疑

一般会計

問 JR藤並駅東口トイレ改修118万8千円が計上されている。

以前、町長は西口トイレがかなり古いので方法を考えていかなければという答弁であった。

今回は西口でなく、東口トイレの改修予算の計上だが、西口トイレ

レよりも東口トイレを優先する理由は。

答 西口トイレは快適に使える状況ではない。今回の改修は県の改修補助事業で行う。西口トイレは今後建て替えになると思う。補助事業などに注視しながら前向きに検討していきたい。

問 飲食店やバス・タクシー会社、農家など

全業種を対象の支援策、また新型コロナウイルス感染症と同時にPCR検査など社会的検査を入れた予算措置が必要ではないか。

答 県議会2月定例会で飲食業・観光業、旅客運送業の支援策ができた。国においても事業再構築補助金がある。これで業務転換や新分野への投資も行われてくると思う。

町はふるさと応援基金の活用ですまい給付金、援農や農家民泊の推進事業も継続する。

地方創生の臨時交付金が拡充されれば、更に町独自の支援策も検討していきたい。

問 ジェンダー平等の立場から、女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画が令和3年3月31日までとなっている。

進捗状況と、計画は。

答 令和2年度の進捗状況は、採用試験の受験者数の女性割合は30%、目標は50%に設定している。班長以上の女性職員の登用実績は17.7%となっている。計画は令和3年4月から5年間の計画を策定済み。

問 育児休業を取得する男性職員の割合10%

が目標だが、昨年は0人。年次有給休暇の取得も平均11.1日だった。低いと思うが、認識は。

答 男性の育児休業取得の実績は今のところない。年次有給休暇の取得は決して高くない。できるだけ休暇を取りやすい職場環境をめざしていきたい。

問 福祉タクシー券は重度障害者が対象。

令和元年度決算では平成21年度の約53%になっている。財源的には対応できると考える。

令和3年度用 有田川町福祉タクシー利用券

〈利用できるタクシー会社名〉

事業所名	TEL	FAX
◆有田交通(タクシー)		
藤並営業所	52-2414	
湯浅営業所	62-3333	
◆有鉄観光タクシー	52-6000	52-5206
◆末広タクシー	32-3155	32-2657
◆わかばの郷	52-4888	
◆つばめ介護タクシー	25-0099	25-0014
◆介護タクシー太陽	88-5122	88-5122
◆南交通	82-2236	
◆愛あいケアフレンズ	0738-20-1090	0738-20-1500

手帳番号	
氏名	
利用券番号	第 号

有効期限 令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

※ 有効期限の切れた利用券は使用できません。

有田川町

当面75歳以上の1人暮らしまで対象を拡大してはどうか。

答 令和3年度は予算で55名分を計上。年々利用者数は減少している。制度の再検討を考えていく。

問 正規保育士と会計年度任用保育士などの人数、全体に占める正規保育士の比率は。

答 令和3年度、当初予定ベースで、正規職員は63名。会計年度任用職員は70名。正規職員の比率は、47.4%である。

問 緊急浚渫推進事業の予算化はされているか。

答 令和3年度では予算化していない。町が管理する河川の流下能力の確保などの場合、事業対象になる。

今後、必要に応じて検討していきたい。

問 令和3年度から未婚のひとり親への個人住民税の寡婦控除が始まる。

答 対象者数と、寡婦控除が適用外になる方の人数は何人か。
答 令和2年度課税の数値で従来の寡婦控除



東口より西口の方が優先では？(藤並駅)

は707名。所得制限がかかって対象外になる方は7人である。

問 ゴミ出しが困難な高齢者や障害者に対し、支援する事業を制度化してはどうか。

答 関係部署と協議を行い、制度化できるか検討していきたい。

問 ギガスクール構想のタブレット保守業務委託料で、約1190万円が計上されている。共同調達部会で一括して業者に委託することになるのか。

答 タブレット調達時の入札によって決まっている。

問 タブレットのアップデートなどのインストールは業者でなくても自分でできると思う。毎年1190万円必要とのことだが内容は、保守代や壊した時の保険も入っている。共同調達をした海南・有田地方の教委・

市町と保守契約をする」と聞いている。

問 子どもや教師が使えるようになると、委託しなくても良い業務など出てくる。精査しては。

答 精査しながら予算の削減に努める。

問 タブレット購入時に、それだけの保守業務費用がかかると把握していなかったのか。

答 その時点で把握していた。今後、十分な説明をしていく。



有田川町で導入したタブレット

国民健康保険 特別会計

問 コロナ禍での国保税の減免や徴収猶予、傷病手当への支援は。

答 国保税の減免実績は21人。徴収猶予は1人。傷病手当の実績は現在のところない。

問 特定検診の受診はコロナ禍で予定通り行われるのか。

答 昨年の緊急事態宣言下では国からの指示で、集団検診などの実施を見合わせた。緊急事態宣言解除後は、実施している。

令和3年度も感染対策のうえ実施していく。

問 国保税を上げないよう基金で対応してはどうか。

答 基金の繰り入れで調整していきたい。

問 均等割額の中で、就学前の子ども分は。

答 法改正で国保税均等割り軽減未就学児を対象に最大5割軽減する。実施は令和4年4月1日からとなっている。

後期高齢者医療 特別会計

問 保険料の減免と徴収猶予、傷病手当の支援はどうか。

答 減免は3件で、傷病手当の支給や徴収猶予はなかった。保険料の減免は、令和3年度も継続される。傷病手当は今のところ6月末までとなっている。

令和3年度も実施される予定である。



介護保険事業 特別会計

問 第8期（令和3年から5年まで）の介護保険料は上がるのか。

答 据え置きとなる。

簡易水道事業 特別会計

問 コロナ禍が続く中で、再度、水道料金基本料の減免は考えられないのか。

答 水道を使用していない家もあり、住民間の支援の差が拡大する。公平性の観点から、水道料金基本料の減免は、再度実施できない。

令和3年度も実施される予定である。



農業集落排水施設（徳田）

**公共下水道事業
特別会計**

問 公共下水道に徳田地区の農業集落排水施設をつなぎ、統合する計画だが、農集排の終末処理施設はどうなるのか。

答 統合後の農業集落排水の終末処理施設は、災害物資の備蓄・書庫などの倉庫として使用する。

問 農集排施設をつなぎ込んで、総事業費290億円と見込んでいます。

地方債残高の見通しと計画処理人口は。

答 地方債残高は86億2000万円の見込み。処理人口は1万1000人を見込んでいる。

問 農集排地域での新規接続者には、早期接続奨励金が適用されるのか。

答 対象外となる。

**令和2年度一般会計
補正予算**

〈おもな事業〉

●ふるさと応援寄附金返礼品

●御霊学童クラブ

●第2（仮称）新設

●地籍調査測量等委託

●林道日物川境川線

●子ども教育の

●コロナ感染症対策

●有田川町

●持続化給付金

●有田川町持続化給付金1億8865万円の内訳は。

●また、申請期間は。

●コロナウイルスの影響を受けて売り上げが著しく悪化している業者

●業者に町単独として給付金を支給し、経営の立て直しをしよう。

●申請は4月末から予定している。

**令和2年度一般会計
補正予算**

〈専決処分の認定〉

●新型コロナウイルスワクチン接種に係る準備に関する補正

●1518万円

問 対象となる医療従事者は。

答 医師、看護師、事務担当者、消防救急救命隊員、町の担当保健師、調剤薬局の薬剤師、歯科技工士である。

問 ワクチン保管の方法は。

答 また、冷凍庫の設置場所と納品計画は。

答 マイナス75度の冷凍庫で保管する。

●3月中旬に1台（金屋文化保健センター）。

●4月に1台（清水保健センター）。

●6月頃に1台（金屋文化保健センター）納品される予定である。

**令和3年度一般会計
補正予算**

●新型コロナウイルスワクチン接種の実施に関する補正

●1億1888万円

問 今回の接種は85歳以上でどのくらい見込んで、いつから接種が始まるのか。

答 4月12日の週に1箱、480人分が届く。

●医師会と相談し4月19日から集団接種をはじめめる。

●その後の分はわからない。

●介護施設からも施設にも回してほしいと要望があり、施設にも届ける。

問 新型コロナウイルスワクチン接種で移動困難な方の接種はどのように考えているか。

答 既存制度（定額周遊タクシーや福祉タクシー）を活用できるよう関係課と調整し、予約申し込み時にその制度の説明を行っていき

●たい。

問 民間事業者も大変な状況で、県は地域交通運行会社への給付金を給付する。

答 赤バスの有効活用や、民間会社に協力してもらうことで、接種者が増え、事業者支援につながるのではないかと。

答 県のタクシー協会から町に対し、輸送の相談をしていただきたいと要請があった。

●関係各所と相談しながら、総合的に検討していきたい。



ワクチン接種会場（金屋文化保健センター）

問 地域交通会議で議論することはないか。
答 4月19日からやっていこうとすれば個別に対応していく方がいい。

条例の一部改正

◎議会議規則
 欠席事由の整備および押印見直しに関する改正。

◎介護保険税条例
 介護保険事業計画を見直すにあたっての改正。

◎町職員の給与に関する条例
 職員の住宅手当に関する改正。

◎町職員の服務の宣誓に関する条例及び町固定資産評価審査委員会条例
 押印の見直しに関する改正。

◎国民健康保険条例
 国の新型コロナウイルス感染症に関する法改正に伴う改正。

◎消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
 支団長以下の報酬年額を20000円加算する改正。

消防団員報酬年額の改正 (単位：円)

階級	改定前	改定後
支 団 長	85,000	87,000
副 支 団 長	52,000	54,000
分 団 長	40,000	42,000
副 分 団 長	23,000	25,000
班 長	20,000	22,000
団 員	18,000	20,000

条例の制定

◎町犯罪被害者等支援条例
 国の犯罪被害者等基本法の規定に準じ新規に制定。

条例の廃止

◎へき地地域定住促進対策条例
 へき地地域の定住促進奨励金を廃止。

へき地地域定住促進対策条例とは？
 へき地に定住の意思をもって新たに町民となった満60歳未満の者を含む世帯には10万円、満16歳以上で60歳未満の単身の者には5万円の奨励金を転入後、1年経過して渡すもの。
 平成22年4月から施行し、昨年度までの実績は9年間で22世帯(93人)と単身者36人、計400万円を支出している。

問 今回、条例の廃止にいたった理由は。
答 また、廃止に伴う代替案は。

答 奨励金を出すことがへき地地域の移住動機につながらず、移住先を検討する際の決め手となっていないと判断した。
 代替案は、令和3年度からの空き家・空き店舗の活用、起業支援や林業従事者の就業奨励金制度がある。
 また、今後予定している「移住就業支援拠点整備事業」なども大きな意義があると考え

問 対策条例の第2条に「へき地」とわざわざ規定していることが大事である。
答 過疎対策の事業は当然必要で、策定に関してはそういう趣旨を盛り込んでいく。

清水や金屋の活性化につなげるといふこと。他の施策に振り替えるのではなく、総合的に考えていくことが大事ではないか。



請負契約の変更

◎平成30年度 防災行政無線
 デジタル化改修事業

変更前 8億4109万6440円

変更後 8億2150万2000円

【討論】賛否が分かれる!

【反対】

へき地定住の呼び水として一定の効果がある。過疎地で暮らしてほしいと願う地域住民にとつて町当局の考えと差がある。新たなへき地定住促進対策も不確かな中で、制度の廃止でなく制度の一つとして残すべきである。

(岡省吾議員)

【反対】

へき地地区として規定していることが大事である。多くの人が移住しているのも事実。これに代わる制度でなく、総合的にやっていってこそ前向きに進む。かつて旧清水町にあった通勤補助金も廃止している。

(増谷憲議員)

【賛成】

今年度は移住定住施策に重点をおく中で、苦渋の選択である。奨励金を目的に移住してもらおうのではなく、本町の魅力で効果的な施策を実施すべきだ。

(椿原竜二議員)

【賛成】

平成18年に3町合併し、吉備がへき地に入ることとなった。いいか悪いか、各自の判断。廃止して新しい施策をつくらんとのことである。

(亀井次男議員)

へき地域 定住促進対策条例の廃止

【反対】

環境整備はいいが、290億からの膨大な先行投資となり、今でも地方債残高に占める割合が35%である。つなぎこみも進まなくなる。今後使用料収入で賄えなくなるかと財政危機にならないか心配する。

(増谷憲議員)

【賛成】

吉備地区は人口が増えている。増えているのは下水道事業をしているからである。赤字の元になるというのはいかがなものか。固定資産税や消費税の増収となりプラスになってもマイナスにならない。

(亀井次男議員)

公共下水道 事業特別会計

(誌面の都合上、一部抜粋)

令和3年第1回定例会の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します)

議員名		堀	増	椿	中	星	片	谷	小	林	殿	佐	岡	森	新	亀	
		江	谷	原	島	田	畑	畑	林	井	々	木	谷	家	湊	井	
令和3年度予算	一般会計	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○
	国民健康保険事業特別会計	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○
	後期高齢者医療特別会計	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○
	公共下水道事業特別会計	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○
へき地域定住促進対策条例を廃止する条例の制定		×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	-	欠	○	○

(注) 森谷信哉議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

総務文教福祉常任委員会

【教育部】

○御霊学童クラブ

新年度、御霊学童保育所の利用を希望する児童の増加が見込まれることから、体育館の一室を改修して新たに御霊第2学童保育所が整備されます。

○教育施設の防犯対策

学校などへの不法侵入者対策として、学校など町内教育施設に防犯カメラを今後増設していく、子どもたちの安全確保に努めていきます。

【消防本部】

○消防団員の報酬見直し

消防団員の処遇改善のため、県内でも低水準である支団長以下の報酬支給年額を2000円引き上げます。

【福祉保健部】

○新型コロナウイルス ワクチン接種

郡医師会との協議で当面の間は集団でのワクチン接種となり、町内では旧町単位で3カ所を接種場所とし、ワクチン接種に向けて、着々と準備が進められています。

【総務政策部】

○きびドーム

大規模改修 建築後25年が経過しており、経年劣化が激しくなっている「きびドーム」を改修します。そのため計画では、令和3年9月から令和4年3月末まで「きびドーム」が使用できなくなります。



改修予定のきびドーム

産業建設住民常任委員会

【建設環境部】

○有田川町都市計画

マスタープランの策定今年度見直しに必要な予算など説明を受けました。

その他

- ・農産物加工販売施設の修繕
- ・農家高齢者創作館の解体撤去
- ・有害鳥獣対策など説明を受けました。

【産業振興部】

〔林務課〕

○有田川町林業研修生 受入支援事業補助金

町内林業者の研修生の受け入れに対して、3年間の賃金上乘せなどの支援策を協議しました。

〔商工観光課〕

○移住就業支援 拠点整備運営事業

旧城山西小学校を活用して移住や就業・起業などを支援する拠点施設の整備により交流人口増をめざします。

〔産業課〕

○農業振興地域整備計画の全面見直し

10年先を見据えて、有田川町が定める公的な計画。県が定めた農業振興地域を、農業用と非農業用の区域に区分します。

今年度のスケジュールや除外申請などを協議しました。

○商品ブラッシュアップ促進補助金

新規開発補助金に加え、既存商品の改良に補助金が給付されます。

○空き店舗等活用促進事業

空き家や空き店舗を活用した事業支援を後押しします。

その他

- ・しみず温泉に関する協議
- ・地域再生マネージャー事業の進捗状況など説明を受けました。



移住就業支援拠点施設として計画中の旧城山西小学校



【町民の皆さまへ】

◎次回定例会の予定

6月定例会は6月8日開会予定で、一般質問は6月17日、18日に行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

6月定例会での審議を希望する場合は、5月31日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎ 22-13294
吉備庁舎4階 議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 小林 英世
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡省 吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

新緑の香りがすがすがしい季節になり、日ごとに春の訪れを感じるようになりました。

コロナウイルス感染症対策は長期化してきており、感染者数の増加傾向が止まらず、第4波に入ったと言われています。

今後も感染対策が必要で、一人ひとりの意識が感染拡大を防ぐこととなります。

一日も早く終息して元の生活を取り戻すことを願わずにはられません。

さて、議会では6月定例会より『録画配信』を予定しています。

議会をより身近に感じて、皆さま方からご意見や感想をいただけたら幸いです。

この「かわら版」が皆さまに親しまれる広報となるよう、今後も紙面作りに努力し、編集に取り組んでまいります。

(星田 仁志)